



教育関係者・事業者部門
《地方公共団体》

農林水産大臣賞

元気さばえ食育推進会議

(福井県) 活動期間 12年

地域の連携による食育推進活動 ～食でつながる みんなのさばえ～

包括的な体制で食育を推進

鯖江市農林政策課に事務局がある「元気さばえ食育推進会議」では、「食でつながるみんなのさばえ」を基本理念に、消費生活アドバイザーや学校・保育所関係者、料理店や菓子店、農家、J A、ママさん野菜ソムリエなど、市内在住の各委員と行政が連携して、包括的な体制で食育事業の推進に取り組んでいます。



「高校生カフェ」の調理の様子

学校給食畑を通じた生産者との交流

学校給食畑は、地区ごとの子供たちの給食に地場産農産物を提供するため、地域の農家ボランティアの支援を得て活動しています。学校の授業と連携した野菜の定植や収穫体験を農家の指導の下で行い、また、学校は「地場産学校給食の日」等で農家を学校に招待し、子供たちと一緒に給食を食べ感謝の気持ちを伝えることで相互の交流を図っています。



学校給食畑での農業体験

学年に応じた体験授業

市内の全小学校において、栄養教諭がつなぎ役となり、体験を取り入れた食育授業を開催しています。低学年では地場産食材でお菓子を作る「お菓子の授業」、中学年では五味について学ぶ「味覚の授業」、高学年では和食や出汁について学ぶ「うま味の授業」。また、市内の全小学校では、鯖江市の地場産業である越前漆器の給食用漆器を導入し、子供たちが日常的に日本文化に触れることができます。高校生自らが農業体験を行って収穫した食材で献立を作成・調理し、飲食店で提供する「高校生カフェ」も行っています。



「うま味の授業」



主菜は
「鯖江のめぐみかきあげ」



基本理念の「食でつながるみんなのさばえ」は10年後20年後も持続可能な“生涯食育”を目指し「食は体の 体は心の 応援団」というキャッチフレーズのもと、幼児から高齢者までみんなが笑顔になる食育推進を心がけています。

元気さばえ食育推進会議 委員長 帰山 順子